

2015年1月19日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2015年3号)

北部地区（地下鉄駅周辺）で銃撃戦が発生

1月18日（日）午後、リオ市北部のビセンテ・デ・カルバーリョ（Vicente de Carvalho）地区において、麻薬密売組織同士の激しい銃撃戦が発生しました。

銃撃戦は、リオ市内の麻薬組織の中でも最大勢力を誇るコマンド・ベルメイリョ（Comando Vermelho (CV)）とアミーゴ・ドス・アミゴス（Amigo dos Amigos (ADA)）との間で行われ、同日13:15～15:49までの間、地下鉄駅トマス・コエーリョ（Tomas Coelho）の乗降口が閉鎖されました（現時点、流れ弾等の被害把握はなし）。

同地区の地下鉄ビセンテ・デ・カルバーリョ（Vicente de Carvalho）駅は、ガレオン国際空港とバツハ地区を結ぶ高速バスライン「トランス・カリオカ」における地下鉄との接続駅であり、

「空港（バス）→ビセンテ・デ・カルバーリョ（地下鉄）→マラカナン」は、昨年のFIFAワールドカップ開催時に、州が空港からマラカナン競技場に向かう際に推奨していたルートでもあります。

- セントロ地区以北のメトロ駅周辺では、路上強盗等の街頭犯罪、銃撃戦等が頻発しています。セントロ地区以北の地下鉄利用はできる限り避けるようにしましょう。
- 拳銃を使用した事件が身近なところで多発していることを認識し、深夜の外出は極力控えるとともに、夜間は短い距離であっても徒歩で移動せず、車やタクシーを使用してください。